



# Nagoya GRAMPUS



名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ  
 NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU  
 NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 Positive Commitment to Practical Action 「さあ！実行のとき」  
 アジア会長標語 Friendship & Peace Forever 「友情と平和を永遠に」  
 西日本区理事標語 「Positive Commitment to Practical Action 「さあ！実行のとき」」  
 中部部長標語 「今こそ地域へ伸びようYワイズ」  
 クラブ会長標語 「地域とともに」 広げようワイズの輪

## 1999年 1月号

### ＜今月の聖句＞

主なる神は、蛇に向かって言われた。「このようなことをしたお前は あらゆる家畜、あらゆる野の獣の  
 中でのろわれるものとなった。お前と女、お前とお前の子孫と女の子孫の間にわたしは敵意を置く。彼はお  
 前の頭を砕き、お前は彼のかかとを砕く」。 創世記 3 14～15

### 第一例会の欠席は当月アウト（坂野 清治）に必ず連絡すること

#### 1999年1月例会のご案内

##### ◎第一例会

##### オークション

オークション用の品物をご持参ください  
 と き：1月12日（火）19時より  
 ところ：YMCA

##### ◎第二例会

と き：1月26日（火）19時より予定  
 ところ：名古屋 YMCA 半期総会

##### ◎第5回ファミリースキー

1999年1月9～10日（土・日）  
 長野県信州北アルプス山麓  
 白馬爺が岳スキー場  
 宿泊：マルハン爺岳ロッジ  
 TEL：0261-22-8453  
 担当：吉田 正



### クリスマス例会報告

12月13日、ナディアパークのレストラ  
 ン「LUCCA」で、クリスマス例会が行  
 われました。8階のエレベーターがわから  
 ずウロウロしながら時間が過ぎ、結局、神  
 聖なキャンドルサービス中に参加させて頂  
 きました。

馬場さんの司会で行われたクリスマス会  
 は、奥様の賛美歌112番の演奏が披露さ

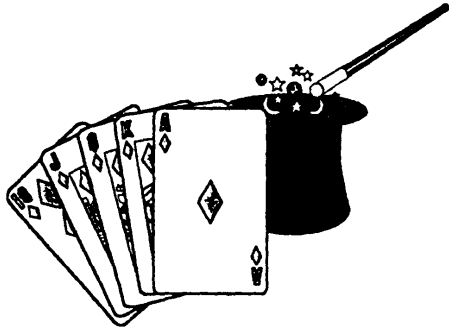
れたり、亀谷さん持参の7千円の絵本に子  
 供たちも興味津々で、クリスマスツリーが  
 突然色とりどりに点火した場面等、子供達  
 にも楽しいプログラムで時簡は過ぎていき  
 ました。そして会食が始まり、メンバー紹  
 介では皆さんのテンションが高く、和気あ  
 いあいとした雰囲気でもとても楽しかったで  
 す。肝心の旦那様がまだ到着しておらず、  
 自分と子供たちを自分で紹介する羽目にな

1999年1月8日

Nagoya GRAMPUS

り、祈祷などでは本人が居らず御迷惑をお掛けしました。

今回のプログラムで一番注目を集めたのは、服部さんファミリーが披露してくれた手品です。子供達を前に次つぎと披露され、詳しく子供に聞くと、猫のカードが小鳥に



変わったり、水の入ったコップを反対にしても溢れない、黒布の袋の中に石膏で出来た卵を入れて置き、最後の手品で卵を割ると本物の卵に変身他、興奮しながら説明してくれました。

随分、練習を重ねた事と思います。ありがとうございました。常川さん達による、フラダンスは若さが強調され、子供達と一緒に踊る姿はとても初々しく思えました。サンタクロースが現れて、子供達にプレゼントが配られみんなで一緒に記念撮影を撮り、いい思い出が出来ました。

最後は、大人も子供も一年中で一番ワクワクする？プレゼント交換でした。楽しみは家でゆっくり見るものですが、それも出来ず子供が全部綺麗に開けてくれました。子供達を主流に考えたプログラムで、飽きることなく最後まで堪能出来たのは、クリスマス会を準備して頂いた方々のお陰です。ありがとうございました。クリスマス会に参加して、久しぶりに楽しい時間を過ごすことが出来ました。来年も楽しいクリスマス会を期待しています。

阿部 一雄 ゆか子



「1999、YMCAチャリティ・ラン」は結婚したての私たち夫婦として、初めて二人揃って参加した記念すべき行事となりました。代役を軽く引き受けてしまった私にとっても、実に久しぶりの「運動会」となり大きな感動と筋肉痛を覚えたことは記憶に新しいところです。

当日は晴天にも恵まれ、グラウンドを行き交う大勢の見知らぬ老若男女の中で、大きな戸惑いと高まる緊張感を禁じ得ませんでした。



# チャリティ・ランに初参加して

いつの間にかレースが始まり、飛び交う歓声の中いくつものたすきが渡されていきます。いつになく真剣になっている自分を笑う余裕もなく、強い日差しに立ち上る土埃の中、先ほど知り合ったばかりの第三走者坂口メネットを私は懸命に探していました……。

来ました。さあ、ぶっつけ本番、いよいよ出番です。たすきを受け取った私は、元気よく前を走る小さな女の子のゆれる三つ編みに、引っ張られるようにダッシュしていきました。その時後ろから聞こえてきた、「そんなに飛ばしたら、最後まで走れないよ。」という妻の声援は、数分後には地面を蹴り続ける私の両足に重く現実となってまわりついてきたのでした。残念ながらイメージとのギャップが埋まらないままゴールすることになってしまいましたが、私は実に多くのことを学ばせていただいたと思っております。百人百様、走り方もいろいろ、人生いろいろ。追い付け追い越せ、追いつけず…のんびりいこうよ、人生は。いろいろな意味で、自分の非力さと今まで気付かなかった人々の優しさを知るよい機会を与えてくれたチャリティ・ラン。私にとって非常に意義深いものとなりました。

グランパスのホットドッグ・コーンスープの提供そして奉仕、ゴール前バテバテの私に励ましの声援を送ってくれたチャック、多くのスタッフの皆様、どうもありがとうございました。

来年も多くの支援金が集まることを願いつつ喜んで参加するつもりです。

## イギリス通信No.5 「家を借りる」



早いもので今年ももう終わりです。思えば変化に富んだ一年間でした。今年は結局5回欧州を往復、米国も含めて海外でホテルに泊まった日数も90日余りとなりいささかうんざりと言うところでした。このせいもありとにかくホテルから脱出したいとの思いから仮住まいまではありませんが前回報告しましたように家を借りました。

英国では家の売買が大変多いようで町の中心にはこの仲介をする不動産屋（ブ

ロパパティエーエイジェント）が軒を連ねてたくさんあります。私がいるところではTaunton（トントン）と言う町が近くで一番大きな町で人口は五万人くらいですが、それでも私が見ただけでも10軒以上もありそれぞれの店に少なくとも二桁近くの人が働いていると思われる。又毎週この地方の不動産情報誌が発行されています。

店をたずねると「何か用なの」と我々の感覚からするときわめてぶっきらぼうな感じでなぜかどこでも忙しそうなおばさんが尋ねます（何故かおばさんが多く、だいまるやサンのような人はいません、日本で言えばニッセイのおばさんと言うところでしょうか）。フラット（アパート）から牧場つきの農家まで何でも場所を選ばなければ売れ物があるようです。日本流にいうと3DKの庭付き1戸建が2千万円以下で素晴らしい環境のところで買えるのでうらやましい限りです。年収が平均的に低いので負担度合いとしては比較が難しいのですが日本と違うことは



木造でないため年数による価値の値下がり少なく、手入れをよくすれば高く売れると言うことも売り買いが盛んな理由の一つでしょうか。

ところがこの地方では貸家が余りないのが私にとってはまことに具合が悪く、とりあえず貸し別荘のようなところを借りた次第です。この家は3百坪くらいの敷地の中に50坪弱の平屋建ての家賃は12万円くらいです。家主サンはこの付近の牧場主で息子、娘夫婦も牧場経営をしており合せるとこの地方では一番の地主でもあるようです。ロンドンより遠くへいったことがないと言うことで地球の裏から来た日本人として痛く気に入られた様子で何かと面倒を見てくれ掃除、洗濯も奥さんがやってくれ（月6円位）大変助かります。

会社にも20分ぐらいと近く、だんだんすめば都的な感



じにもなってきましたが、周りに何も無いのが欠点でもう少し町に近いところを引き続き捜したいと思っています。

いよいよ英国での実生活が始まりました、日本でも

転居を伴う転勤はしたことがないので今の一人暮らしは私にとってまったく未知の世界です、日本人は会社の中でも私一人ですしこの地方にもいないようです、日本食レストランも3時間くらい離れたロンドンにしかありません。

衣、食、住といいますが衣はともかくとして食、住についてこれからの英国生活がどんなことになるのか楽しみです。